



チャット&ディスカバリー

ムハンマドとは誰か？あなた自身で判断してください。



チャット&ディスカバリー

**彼は西暦570年に生まれ、633年に亡くなりました。**

本稿の内容は、信頼できる書籍、写本、記録文書、また実際にその事実を確認した人物の伝承に基づいています。膨大な数の証拠文献が存在し、ここではすべてを挙げることはしませんが、それらの資料は長い年月を経てもそのまま保存されており、ムスリムも非ムスリムもそれを改ざんしたことはありません。

近年、多くの人がこう尋ねています。「ムハンマド(彼に神の祝福と平安を)は一体何者なのか?彼は何を説いていたのか?なぜ彼は多くの人に愛されるのか?一方で、なぜ一部の人には彼を軽視するのか?彼は宣教に人生を捧げたのか?彼は神聖な人物なのか?本当に神に遣わされた預言者なのか?彼はどのような人物だったのか?」



**以下の点は、何千人もの人々が語った事実であり、その中にはムハンマドと同時代を生き、彼を直接知っていた人々もいます：**

- 彼の家系は、マッカの最古の部族の一つに属していました。
- 彼の名「ムハンマド」は、「賛美する」という語根「ハマド ( احمد )」から派生したものです。彼の名は昼夜を問わず、人々によって称えられています。
- 彼は部族の風習に従うことなく、自ら作った偶像を拝むこともありませんでした。
- 唯一の神だけが礼拝に値すると信じ、神に並ぶものがあってはならないと信じていました。
- 彼はアッラーの御名を深く敬い、それをもてあそんだり、私利私欲のために使うことはありませんでした。
- 偽りの崇拜とそれに伴う墮落行為を軽蔑していました。



チャット&ディスカバリー

- 彼はアッラーの教えに従い、以前の預言者たちと同じく唯一神への信仰を説きました。
- 姦淫を一切せず、他人にもそれを戒めました。
- 利子を禁止し、イエス(アーサ)の時代と同様に非難しました。
- 賭博も酒も一切行いませんでした。酒は当時の習慣でしたが、彼は拒否しました。
- 中傷や噂話を避け、誠実に生きました。
- 神の喜びを得るために頻繁に断食を行いました。
- イエス(アーサ)とその母マリヤムを純潔で神の奇跡と認め、尊敬していました。
- ムハンマドはユダヤ人にも、イエスこそ聖書に預言された「メシア」であると明言しました。
- イエスの奇跡(盲人を癒し、死者を蘇らせたなど)はすべて神の力によるものであると述べました。
- イエスは殺されず、アッラーによって天に引き上げられたと宣言しました。



チャット&ディスカバリー

- 終末の日に、イエスが再び現れ、信仰者を導き、誤った者を打ち倒すとアッラーがムハンマドに啓示しました。
- ムハンマドは貧しい人々への施しを命じ、未亡人、孤児、旅人の保護者でした。
- 家族の絆を重視し、関係修復を奨励しました。
- 婚姻関係を通じての男女の絆を認め、姦淫を厳しく禁じました。
- 女性の権利(持参金、相続、生活費など)を強く守りました。
- 彼の誠実さ、謙遜、人格は、彼を知るすべての人々が称賛してやまないものでした。
- ムハンマドは決して嘘をつかず、約束を破らず、偽証をしませんでした。彼は「アミーン(誠実な者)」として知られていました。
- 彼とアイーシャの結婚は合法的なものであり、愛と敬意に満ちたものでした。アイーシャは多くの預言者の言葉を伝えた伝承者です。



- 殺人は、明確な神の法に従ってのみ許可されました。無実の者を殺すことは固く禁じられました。
- ムハンマドは、ユダヤ人に対しても大量虐殺を行ったことは一切なく、彼らが条約を破った場合でも、最終的には許しを与えたこともありました。
- 奴隷制度が当たり前だった時代において、奴隷解放を命じ、自ら多くの奴隷を解放しました。召使いのザイドを養子とし、最初のムアッジン(礼拝呼び出し人)ビラールも解放されました。
- 敵から襲撃された際も、報復を命じず、メッカ入城の際には敵を許しました。
- イスラーム初期13年間は戦いを禁じられ、戦争はあくまで神の命により正義と秩序のために行われました。
- 社会インフラの破壊も原則として禁じられています。
- ターイフで受けた侮辱と暴力に対しても、彼は祈りを捧げ、報復しませんでした。



チャット&ディスカバリー

## 彼はこう言いました：

「すべての赤ん坊は本来アッラーの創造のままに生まれる。その後、親が彼をユダヤ教徒やキリスト教徒、または拝火教徒にする。」

つまり、人は本来、アッラーに従う本性(フィトラ)を持っています。環境や教育によってそれが変わっていくのです。

ムハンマド(彼に神の祝福と平安を)は、アードム、ヌーフ、イブラヒーム、ヤアクブ、ムーサー、ダーウード、スライマーン、そしてイーサー(彼らすべてに平安を)と同様に、唯一の神だけを礼拝するように人々に伝えました。